

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

家計経済学・家族社会学入門—経済とジェンダー入門

内容

後期は下記テキストを使用してジェンダーという視点から仕事、家事労働、結婚、出産・育児などについても考えます。どちらかと言えば日本が中心になります。世界でもまれにみるほどに女性に偏った家事労働について、なぜそれが発生するのか、どうすれば男性は負担を増やすのかなどを考えたいと思います。

単に報告だけでなく、図書館を利用したグループワークも取り入れていきたいと思っています。

使用予定テキスト

竹信三恵子『家事労働ハラスメント』岩波新書

ただし、すべての章を扱わないと思います。

ゼミの進め方

前期と同じです。

成績評価基準

前期と同じです。念のために書いておきます。

出席 50%、ゼミでの発言や取り組む姿勢（レジュメの作成など）30%、課題の提出 20%。ゼミ中の態度や遅刻があまりにひどい場合、前期・後期のチームレポート未提出者には、たとえ欠席がなくとも単位を与えません。原則として欠席は認めません。

ゼミ選択上のアドバイス

1年生：前期「基礎ゼミナール1」で私のゼミを履修した1年生は履修しなければなりません。

2年生以上：学習指導委員の指示に従ってください。

その他

ここ数年にわたって家事・育児について研究してきました。これらは2年ゼミ、3・4年ゼミ、卒論指導でも扱ってきたテーマでもあります。そこで交わされた議論が少しでも還元されればと思っています。

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

世界について考えるとき、考えるべきこと

内容

世界には紛争が絶えない。暴力に満ちあふれている。正義のためにはやっぱり戦争が必要なのだろうか。この問いを基本に、下記に示す絵本のような専門書をみながら読みながら、グループワークもやって映像資料も読み解いて、そういうことやりながら、世界の見方について、考えてみたい。予定してるメニューは次の通り。

<グループワーク>

人が何を社会正義だと考えるかについてインタビューしてみる。
自分にもっとも影響を与えた人について考える。
正義の戦争はありえるのかについて考える。
壁と橋と扉をモチーフに紛争と和解について語る。
写真から物語を読み取る。

グループは何回も組み替えます。全員が全員と話をすること、これを目標にします。

<映像資料>

国際平和映像祭の作品鑑賞など。

<本の講読>

グループごとに、指定教科書の指定箇所について、教員が提起する問いについて話し合い、その内容をグループで協力して報告してもらいます。

<400字課題>

毎回ゼミ終了後、次のゼミまでに、400字の文章を作成する課題をだします。内容はすべておまかせ、どんなことでもかまいません。全12回提出で、ゴールです。だれでも分かる言葉でだれにも書けない文章を書く、これを目標に文体を鍛えます。毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

池田浩士・高谷光雄『戦争に負けないための二〇章』共和国
(購入してもらいます)

ゼミの進め方

グループワーク中心に進めていきます。グループは適宜、組み替えます。また1回のゼミに複数の学習パターンを組み合わせて(90分のなかで、映像を見て、講読もして、グループワークも実施する)。大学の付近に散歩しにいったりもします。

成績評価基準

グループワーク(どのようなものであれチームの中でなんらかの貢献ができていたか)50%+毎回のコメントカード(授業で学んだことを毎回適切に記録しておくことができたかどうか)50%

ゼミ選択上のアドバイス

大学生前半、大切なのは今現在の自分自身をぜったいに卑下しないこと。これまでの人生、まったくもって短いにしろ、それなりに思考の力を手に入れてきたはず。まずはその力に気づきたい。そこるところからゼミをはじめたい。これまで自分が生きてきた環境と自分自身のスタイル、この双方が培ってきた自分自身の思考のシステム、これを明確に意識していこう。ただ、それを自分一人でやり遂げるのは難しい。だからゼミが役に立つ。毎回かならず誰かしら他の学生と話をしなければいけない仕組みにする。人と交わるのが苦手な学生は自分を変えるチャンスになる(たぶん)。イツメンと手を繋いで学校に来てイツメンとだけ目を合わせ言葉を交わしあとは沈黙のまま授業終了そして帰宅なんてパターンの学生も、自分を変えてみようとするチャンスになるかもしれない(そんな自分が恥ずかしいと思えるようになるかもしれない)。人生何事もかならず本質的な何かへの準備的なトレーニングになりうるものである。人とかかわるのが得意な学生は本領発揮して苦手な学生を巻き込んで全体を盛りあげ、苦手な学生は人の話をじっくりきいて上手にうなづき話し手に自信をもたせてあげよう。それもとても大切な貢献になる。楽しい人は想い存分楽しんで好いと想う。でも、20年後の後悔は激痛となってこころを襲う。問題意識の開拓はいましかない。

その他

LINEグループを作って連絡用、教材配布用、400字課題提出用に使います。

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

英字新聞を読んで、英語でエッセイを書いてみよう

内容

このゼミでは、Mainichi Weekly という大学生向けの英字新聞内容を読み、内容を確認して要約したり、そのことについてどう思うかグループで話し合います。後期には、次の6つのトピックについて、賛成・反対意見の両方を含めた論争型のエッセイ (Balanced Essay) 200 words を書きます。今学期は、最終的に1年の締めくくりとして、1,000 words (900-1,100 words) のアサインメント (Assignment) を書くことにも挑戦します。

- 1) Do sports play a positive role in society?
- 2) Is coexistence of wild animals and humans possible?
- 3) Can international terrorism ever be eliminated?
- 4) Can racial discrimination be totally eliminated from society?
- 5) Is consumption tax a good way to raise government revenue?
- 6) Do the strengths of multicultural societies outweigh the weaknesses?

また、アサインメントの構成は次の通りとします。

1. Introduction, 2. Situation, 3. Problems, 4. Solutions, 5. Conclusion

使用予定テキスト

Mainichi Weekly より次のような記事を読む予定ですが、その他にも最新の記事を付け加えて行きます。

- "Taxing Issue" 消費税率8%に引き上げへ 阿部首相が表明、2/15/2013
- "Monkeys Attract International Crowd" 長野県「地獄谷野猿公苑」にて、2/15/2014
- "Remembering MLK" キング牧師「私には夢がある」演説から50年、9/7/2013
- "Booming Bollywood" インド映画の新時代「きっと、うまくいく」8/10-17/2013
- "Connecting Cultures" ケリアン・パノス氏に聞くコミュニケーション学、3/9/2013
- "History Makers" ラグビーW杯 日本、初の3勝 8強はならず、10/24/2015
- "Confronting Terror" パリ同時テロ129人死亡、ISが犯行声明、11/28/2015

ゼミの進め方

まず、あるトピックについての賛成・反対意見をグループで話し合います。次に、そのような意見をサポートするための参考文献を図書館で探します。さらに、その文献も含めてエッセイの構成をマインドマップで考えます。このようなライティングの活動を通して、基本的な英語での論文の書き方を学びます。

成績評価基準

- ①出席・授業態度 30%、②英文エッセイ 40%、③ER 20% ④ファイル・マネージメント 10%
以上4点を総合して成績をつけます。なお、エッセイは期日までに提出すること。

ゼミ選択上のアドバイス

大学に入学して間もない皆さんが4年後のことを考えるのはむずかしいと思いますが、4年生になったら英語で卒業論文を書きたいという人は、ぜひこのゼミを選んで下さい。また、英語を読んだり書いたりすることに自信を付けたいと思っている人もどうぞ。エッセイの書き方については十分に時間をかけて説明します。

その他

授業で配布するプリントは、ファイルを用意してきちんと綴じて下さい。ファイル・マネージメントも成績評価に加味します。

[授]: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
基礎ゼミナール2	越智 敏夫			【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

世の中について考えるとはどういうことか？
 ……言いかえれば、
 他人の幸福や不幸と自分のそれとは関連するのか？

内容

【新入生の皆さんへ】

本当は別のことをしたいのだけれど、でも才能とかお金とか、いろんな制約があるので、今はこうしてここでつまらない人生を送っているんだ、とは絶対に考えないほうが良いと思います。そうやって自分をだます言い訳ばかり考えているうちに、本当にゴミみたいな人間になっていくんじゃないでしょうか。「今ではないいつか、ここではないどこか」における人生ってのが存在するのなら、誰も苦勞はしてないし、みんな、もっともっとおちゃらけてるはずでしょう。

以上のことを前提にして【ゼミ内容】を少しまじめに書くと、ものを読み、考え、議論し、それを文章にまとめる、という一連のことをします。当たり前といえば当たり前のことをするわけです。しかしこれは大袈裟に言えば、共同で知的訓練をつむという作業です。中心になるのは議論をするということですから、黙っていても単位はもらえるだろう、と思う人は来ない方がいいです。

そして【何について議論するか】というと世の中についてです。なんでまた自分以外のことについて考えないといけないかと言うと、それが結局自分の幸福について考えることになりまして、また自分自身を幸福にすることにもつながるはずだからです。その意味で言えば、新聞を読まない人は絶対に幸福になれません。その理由を考えるゼミでもあります。ただし、ゼミでの議論がいくら盛り上がりしても、各自の目的意識を欠いては、ただの「お遊び」でしかありません。他はどうぞでもいいけれど、現代社会のここだけは絶対許せない、という獣のような批判精神ある学生の参加を期待します。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

ゼミ参加者と相談して決めます。

ゼミの進め方

特定のテーマに関する論文や記事、書籍を全員で読んで、その内容について議論します。全体の進行を担当する「司会」、内容の要旨を報告する「レポーター」、その内容を批判する「コメンター」を中心に議論を進めます。ゼミ生はこのみつつの役割を順番に担当します。数回でひとつのテーマを終了する予定です。終了後にはそのテーマについてのレポートを書いてもらいます。

成績評価基準

ゼミナールですから出席を重視します。各セメスター、3回までは欠席しても単位を出しますが、それ以上欠席すると単位は出しません。欠席の理由は問いません。バイトだろうが、風邪だろうが、欠席は欠席です。

ゼミ選択上のアドバイス

ま、これも自分をだまさないことでしょう。本当は遊びたいのに、きついゼミを選んだりすれば、教師も学生もお互い不幸になるのは明らかです。そこをよよく考えてください。

その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

ゼミテーマ・タイトル 「法律学ってけっこう役に立つ!？」

内容

●新入生への一言

Congratulations on passing the entrance exam. さて、大学にはゼミナール(ゼミ)という時間があります。ここでの主役は先生ではなくて参加しているすべての学生です。ですから、ゼミの時間を楽しくするもしないも、主役である皆さんにかかっているといってもよいでしょう。ゼミでどうか「スター」になってください。

●内容(目的やねらいも含む) 賃貸借契約、遺言、黙秘権、表現の自由、国際条約、ということばに共通するものはなにか、と問われれば、なんと答えるでしょうか? 「法」とか「約束」という答えを想定することができるとは思いませんか。

より細かく見れば、それぞれ民法(借地借家法)、刑法(刑事訴訟法)、憲法、国際法といった具合です。そして、わたしたちは実は様々な場面で、この法と関わっていることができます。

ところで、ほとんどのみなさんは法的にみて、「未成年」の年に1年生ゼミナールに参加することになります。2年後には、およそすべての法律の適用対象となってしまいます。原則として、もう少年(少女)Aではありません。その前にできるかぎり、法というものの考え方に接しておくことは決して無駄ではないとは思いませんか。

そこで、このゼミナールは、各ゼミ生の法的な思考をより深めさせることを目的とし、また目標としています。

具体的にいうと、同性間の結婚、死刑廃止の是非、男女区別の合法性(レディース・デイとは男性に対する差別か、適法か)、美容整形に納得がいかないときの慰謝料、児童の権利といったトピックや問題について法という視点を通して検討してゆきたいと考えています(そのほか、学生の希望テーマも取り上げます)。

難しく思うかもしれませんが、できるだけ具体的に検討します。どうか、安心してください。また、皆さんにとってゼミを受けることは初めての経験だと思いますので、報告のやり方、レポートの書き方については、十分に時間をかけて説明をする予定です。

その他、学生のみなさんの希望に応じて、英語(洋楽を聞き、その歌詞から学ぶとか)や初級のフランス語に親しむべく、英語やフランス語を少し学習することもあるかと思えます。

毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。

使用予定テキスト

松井ほか『初めての法律学』有斐閣

『わたしたちと法』現代人文社

円道祥之『空想科学裁判』宝島社 など

ゼミの進め方

まずは、指定したテキスト(文献)をゼミ生全員で読み、それについて議論をしてもらおうということを考えています。その後、各ゼミ生が自分で選択したテーマを素材に、報告をし(自由報告)、それについてゼミ生全員で検討するというかたちでゼミを進めます。

レポートの提出を求めることも考えています。

成績評価基準

報告やレポートの良し悪し(50パーセント)、ゼミへの参加度(50パーセント)を基準に成績をつけます。

ゼミ選択上のアドバイス

上にみた「内容」でとりあげたような諸問題に関心がある学生の参加を求めます。これらの問題について自分なりの意見をしっかりと提示できるよう、十分なりサーチをし、その上でなにか問題を解決・調整してやろうというやる気をもった学生を大歓迎します。

繰り返しになりますが、報告のやり方、レポートの書き方については、十分に時間をかけて説明をする予定です。ですので、安心してください。

ちなみに、ゼミでの食事会(未成年者が対象なので)を行うこともあります。

その他

楽しいゼミにしたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
基礎ゼミナール2	澤口 晋一			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

毎日、新聞を読み世の中の動きを知る。
 大学で学ぶということを考える。
 自分の興味・関心は何かを探す。

内容

毎日、新聞を読み、数ある記事の中で最も自分が興味を持った記事の内容を所定の書式に従って書いてもらいます。毎回のゼミの前半はこの新聞の報告およびそれへのコメントの時間とします。

時間の後半は、初年次教育（大学1年）用のテキストを使用し、大学生としての学びの技法（アカデミック・スキルズ）を少しでも身につけられるようなものとします。

夏休みには自由研究として自分の興味のあるテーマを設定し、それを調べてもらいます。後期の基礎演習2では、この自由研究課題の報告会から始まります。

使用予定テキスト

- ・新聞
- ・佐藤 望ほか『アカデミック・スキルズ—大学生のための知的技法入門—』慶応大学出版会。
- 他のテキスト

ゼミの進め方

上記の内容と同じ。

成績評価基準

毎回の新聞記事報告用紙の提出とその内容、口頭報告の内容および取り組み姿勢など。

ゼミ選択上のアドバイス

毎日、新聞を開いて眺めて、興味のある記事を見つけて、切り取ってその内容をレビューするというをやってみたい人、待ってます。
 その他

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	専門	必修	1年
基礎ゼミナール2	山田 裕史			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×
		【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×		
ゼミテーマ・タイトル							
「大学で学ぶための知的技法の習得」および「わたしたちの日常生活と国際協力」							
内容							
<p>大学での学びにおいて大切なことは、暗記した内容を試験で答えるという高校までの学びとは異なり、自ら問題を見つけ、それを整理して、自分なりに考えて答えを導き出す能力を身につけることです。</p> <p>本ゼミナールでは、講義でのノートの取り方、図書館での文献・資料など情報の探し方とその整理の仕方、プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方など、大学生として不可欠な学びの技法を、グループワークを通じて習得します。これらは、大学での学びに不可欠な「問いを立てて、調べ、考え、表現する」というプロセスの初歩的なトレーニングと位置づけられます。</p> <p>また、本ゼミナールは、「国際協力」をもうひとつのテーマとし、国際協力に関する基礎や、大学を含む日常生活で実践できる身近な国際協力について考えます。希望者がいれば、カンボジアをフィールドに国際協力の現場を訪問する、スタディ・ツアーの実施も検討します。</p> <p>毎回の予習・復習に、合わせて4時間相当の課題を提示し、その成果を提出してもらいます。</p>							
使用予定テキスト							
世界思想社編集部編『大学生 学びのハンドブック』3訂版、世界思想社、2015年							
その他、国際協力に関する基礎的な文献を適宜、配布します。							
ゼミの進め方							
(1) 文献の講読と討論、(2) 各自のリサーチに関するプレゼンテーション、を組み合わせで行います。また、本ゼミナールで学んだ技法をもとに学期末にレポートを執筆します。							
成績評価基準							
(1) 出席、(2) 文献講読と討論の内容、(3) プレゼンテーションの内容、(4) レポートの内容、をもとに総合的に評価します。							
ゼミ選択上のアドバイス							
国際協力について学ぶだけでなく、国際協力にかかわる学生団体で活動したり、日常生活においても身近な国際協力を実践したりする、意欲的な学生の履修を期待します。							
その他							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
310015	X-21-B-1-310015	2	後期	【1年次生】国際学部国際化学科	専門	必修	1年
				【1年次生】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際化学科	専門	必修	1年
				【2年次生以上】国際学部国際化学科英語集中コース	専門	必修	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×
基礎ゼミナール2	瀬戸 裕之			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×

ゼミテーマ・タイトル

東南アジアの地域形成を考える

内容

【ゼミの目的】

本ゼミでは、東南アジアの地域形成を学びながら、日本とアジアについて考えることを目的とします。

東南アジアは、現在、世界の中でも経済発展が目覚ましい地域であり、日本企業も多く進出しています。また、毎年、多くの観光客が訪れており、日本との関係が深い地域です。さらに、アジアで唯一、地域統合が進みつつあり、2015年末には、ASEAN 共同体が発足するなど、今後の展開が注目されています。その一方で、近年では、中国との間での領土紛争などが話題になっています。

今後、東南アジアは、どのような方向に発展していくのでしょうか。また、日本は、それによりどのようにかわっていくべきなのでしょうか。安全保障や経済関係という視点を超えて、東南アジアとの間でより深い関係をつくるためには、東南アジアがどのように形成されてきたのか、日本と東南アジアがどのような位置づけにあるのか、という点について、長期的な視点から考えてみるのが重要であると考えます。

本ゼミでは、東南アジアに関する本（新書）を一緒に読みながら、東南アジアに対する理解を深めたいと考えています。

【ゼミの予定】

（後期）

後期ゼミでは、白石隆著『海の帝国-アジアをどう考えるか』（中公新書）を読みます。学生の間で担当を決めて、担当する部分についてレジュメを作成して発表してもらいます。その後、学生の間で質疑応答を行います。東南アジアに関する基礎知識を身につけるとともに、ゼミ報告の方法についても学びます。

使用予定テキスト

白石隆著『海の帝国-アジアをどう考えるか』（中公新書）、中央公論新社、2000年。

ゼミの進め方

学生が本の担当部分についてレジュメを作成し、ゼミで報告します。それに基づいて、学生の間で質疑応答を行います。必要に応じて、教員が情報を補足します。

成績評価基準

学生によるゼミへの参加と報告内容に基づいて成績を出します。具体的には、(1) ゼミへの出席・授業態度 (25%)、(2) 担当した章に関する発表内容と取り組みへの姿勢 (50%)、(3) ゼミでの発言やディスカッションへの参加 (25%)、に基づいて評価します。

ゼミ選択上のアドバイス

本ゼミでは、これから4年間、大学で学習するための基本的な方法を学びます。できるだけ欠席をせずに参加して、ゼミ仲間や教員とのディスカッションを深めてください。

その他

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習